

2023年 第1回 国際部運営会議 議事録

日時 : 2023年3月2日(木) 10:00~11:30
場所 : 病院本館2階会議室
出席 : エスペーロ 坂口施設長、吉田事務長、原田ケア部長
クレオ 秋元事務長、市岡ケア部長
CP 柴崎 大内部長
国際部 土井、桐畑、渡辺(書記)

土井: 国際部は、日越交流プロジェクトとして7年前から活動を開始、外国人材特にベトナムに対する思い入れもあり、ベトナム人を介護職員として招聘し、その人材を介した日本の技術のアウトバウンド、介護事業の展開を目的としている。

山本元部長、三浦さんの退職に伴い、組織体制を見直し、国際部の下に「ホーチミン支所」と「国際人材支援室」を設ける事とした。

今回は、各介護事業所と新組織としての国際部の協力体制構築のために意見交換を行いたい。

【議題1】 国際部(外国人材支援室)と各事業所の役割について

原田: ベトナム人職員に限らず、日本人も含めて介護現場で指導育成する体制ができていない。言葉の問題もあり、学生寮の寮母さんのような、又はベトナム人のリーダー的な職員が必要。

土井: 三浦さん退職後に木村さんが入職し、その役割をある程度引き継ぐ。

原田: 支援室業務として日本語学習のサポートとあるが、どのようなものか。

渡辺: これまでは毎週日本語学校の先生に来院してもらい日本語学習の補習を行っていた。

原田: 処遇改善加算の関係で、一職員としてカウントしているベトナム人留学生も認知症基礎研修を受ける必要がある。研修は、ベトナム語でも受ける事ができるが、日本人でも難しい内容でかなり時間がかかる。

渡辺: 介護に関する内容は、これまでは三浦さんが現場を知っているので対応できたが、これからは対応が難しい。

吉田: 法人内研修を含めたe-ラーニングなど、都度施設で受講を指示するのは難しいため、支援室でまとめて受講させるような機会を作って受けさせてほしい。

渡辺: 必要な研修があれば、情報を頂き受講のサポートを行う事は可能。

土井: 仕事と生活の支援範囲を整理し、明確に分ける必要がある。後日改めてこの話をする機会が必要。

渡辺: 4月までに各事業所代表と協議する。

【議題2】 今後の外国人採用に関して

土井: 外国人職員に関し様々な問題が起きている。今後は外国人材の採用をやめた方がいいというような意見はあるか。

秋元: 人材確保としては助かっている。質の問題は個人の力量であって、別枠として考える必要がある。

現在クレオでは外国人正職員が4名おり、留学生がそのまま正職員となれば約2割となり、日本人職員の採用が進まなければ数年後には3割近くになる可能性もある。

市岡： 職員教育に関して、クレオの問題ではあるがキャパを超えており、十分な指導教育ができていない。

土井： 教育は現場で厳しくやってもらう必要がある。

坂口： そもそも日本人スタッフが他職員を教育するスキルを持っていない。

市岡： ベトナム人が多くなった事でクレームが多くなっている。必ずしもベトナム人が悪い訳ではないが、印象としてベトナム人の影響と捉えられてしまう。

土井： 1期生3名が正職員として働いているが、今後5年を超えても継続的に戦力として雇用を続けるか。

市岡： 人による。これはベトナム人ひとくくりではなく日本人も同じ。学生の中でもちゃんとしている人はいる。

土井： ベトナム人は介護職員としての適性があるか。

原田： 事業所での指導は日本人を含めてできる体制ではない。ベトナム人の勤怠管理についても事業所で行うのは仕方がないが、何かあったら電話連絡をするというような基本的な指示が通じない。人にもよるが。

土井： 1期生の頃からなのか今の6期生の問題なのか。

吉田： 留学生は、現場の他職員の行動と同じ事をする。指導の問題であり6期生が良いのか悪いのかはわからない。

市岡： 1期生でも適していない人もいる。

吉田： 日本語の壁が影響すると思われる。

土井： 基本的には、介護人材が不足しているであろうことから、今後も外国人材を受け入れる事は継続していきたい。ただ今そのような問題が出ているから、次期の7期生は2名に減らした。今後どうしたら良いかは皆さんと一っしょに考えていきたい。どうしたら創造会にとって全体最適になるか、日本人だから良いという訳ではなく、日本人でも問題を起こしている人はいる。事業所の皆さんは本当に大変だと思うが、教育は皆さんでやってもらうしかない。

【議題3】外国人職員の配属について

市岡： 今までは2年おきにローテーションすることで、いろんなところを知ってもらうというプランだった。いろんな経験をしてもらいたいという理事長の構想はとても良いと思う。ローテーションには賛成であるが、留学生については、自分のところで育てても「どうせいなくなる、一生懸命やったってどうせいなくなるんじゃない」っていうのが現場の声となっている。そのため、夜勤を教えたくても教える段階に至っていない。一人前にならないうちに異動させてもただ大変なだけと思っている。

土井： 留学生も、日本人はローテーションさせていないのに自分たちだけと思っていると聞いている。現場の状況を見ながら無理せずやっていけばよい。皆さんの意見を聞きながら、ローテーションの期間を決めれば良い。

大内： ケアプラザの場合、留学生の指導はできない状況なので、3年間の就学期間と正職員となる時点

で切り離して考えていただきたい。一年かけて指導してやっと覚えたときにローテーションで他施設への異動となると、また新たに教えなくてはならない事で職員は疲れ切ってしまう。できれば長期で柴崎又は寿で雇用という形にしてほしい。

市岡： 正職員となった時点から3年間同じ事業所で勤務してもらえば、きちんと指導する事ができる。出来上がったところで異動というのが事業所側の希望である。

大内： 夜勤まで経験してから異動となると、デイでは夜勤収入がなくなるから嫌だという事になってしまう。

渡辺： 補足として、千葉県プログラムに参加できるのは、創造会で言うと老健とグループホームのみとなるため、5期生の内の一名と6期生全員はデイサービスにて勤務することはできない事になる。デイ、病院で勤務できるのは創造会のプログラムで採用した1～4期生と5期生の一部になる。

市岡： 就学中は経験としてデイでアルバイトすることは可能か。

渡辺： 千葉県で確認して認められている。留学1年の日本語学校に通っている学生達は、日本語も不自由であり、介護についてもほぼ知識がない状態であるため、介護の現場で面倒を見るのが負担であるなら規定の介護事業所でアルバイトするのではなく、他事業所で雑用を行う事もできるが如何か。

市岡： 本人たちにとっても同じ事業所の方が良いと思う。

渡辺： 今年正職員となる4期生4名の配属先は就学期間に引き続き同じ事業所でよろしいか。専門学校卒業後3月末まで引き続きアルバイトをするために、4月以降の就労先を決め雇用契約書を作成して入管に届け出る必要があるため確認したい。

→ クレオ、エスペーロ継続で承認

ガーさんは柴崎で継続でよろしいか。

→ 承認

土井： 1期生のダット、ユエン両名は病院勤務は1年間と約束している。

エスペーロでクン君がほしいとの事だが、

渡辺： 異動が頻回となると抵抗があるかもしれない。

市岡： 今クレオから異動となると人員不足で大変困る。

坂口： 理事長へはクン君の異動を条件に他の話も頂いている。それが無しとなれば…

土井： 夫婦はペアで異動する必要があるか。

市岡： リクエストは聞いていない。トゥイさんの通勤の送り迎えを行っている

吉田： 施設長から理事長にクン君をエスペーロに戻してもらいたい理由を説明している。ベトナム人達のリーダー的存在になってもらい協力してもらいながら全体を引き上げたいとの考えであった。エスペーロだけの問題ではなくベトナム人全体に広げていけたら良いと考えている。

秋元： エスペーロ、クレオもユニットと従来式の違いだけで基本は同じ。

土井： ユエンさん、ダット君をクレオに異動させては如何か。

市岡： ダット君は夜勤が未だにできないため、クン君と交換となるとかなりなマイナスになる。

秋元： 事業所それぞれの希望を聞いているときりが無い。

市岡： 通常考えであれば1年での異動はないものとする。

土井： 正職員については本日承認された配属以外には調整が必要であり、配属の希望を文書で出して
もらいたい。時間が掛るが総務と相談して最終的にはこちらで決めさせていただく。

大内： グループホームも希望を出すことはできるか。

渡辺： 可能。来年度7期生2名が春に来日するが、この二人の所属は如何か。お互いを知っている訳ではないので同じ事業所である必要はないと思われる。

原田： コロナが発生した時の事を考えると寮を含め分散させた方が良いと考える。

【その他】

桐畑： 留学生達は学校とアルバイトのスケジュールが忙しく、時間があればアルバイトしたいと言うため、我々国際部と会う機会がほとんどない状態で対応に困っている。是非共よろしく願いたい。国を出る際に多くの借金をしてきているという事情もあり自国への送金を優先する傾向がある。

渡辺： 本来であれば留学であるため勉強を優先するべきところであるが、それぞれ事情もあり、本人達へ指導しているがなかなか受け入れてもらえない状態である。

吉田： 気持ちはわかるが、働く事を優先して肝心の時間が取れないのであれば、本末転倒である。事業所側として、学生が希望しているアルバイト時間を調整して必要な時間を作る事もできると思う。

以上